

修了生の活躍事例

ポリテクセンターで知識と技術を身につけて再チャレンジ

前職では飲食業で働いていましたが、それ以前に専用機械の設計・製作を行う会社で、機械加工を行っていました。そこで機械を一から製作することにやりがいを感じていたこともあり、今回の転職を機に、もう一度「ものづくり分野」で仕事をしたいと思っていました。

ポリテクセンターの施設見学会に参加しコース内容を知ることによって、機械加工の知識と技術を改めて身につけられ、加えて機械製図やCAD技術についても習得できると思い、応募しました。

日本ニューノーズル株式会社

砂走 堂仁 さん (34)

[⇒ 前職：飲食業]

CAD・NC加工科

(6か月訓練)

令和4年10月 入所
令和5年 3月 修了



就職先との出会いはポリテクセンターの就職フェアでした

以前の仕事の経験から機械加工に関し多少の知識はありましたが、基本的な内容から学び直したいと考え訓練を受講しました。訓練では、6か月間で汎用工作機械やNC工作機械を使った機械加工やJISに基づいた機械図面の読み方やCADを活用した図面データの作成を学びました。特にマシニングセンタやNC旋盤などNC工作機械のプログラミングや機械操作に興味がわきました。

就職活動では、就職支援アドバイザーとの面談や就職フェア（合同企業面談会）を活用しました。就職フェアでの出会いをきっかけに参加企業の当社に就職しました。

将来、すべての機械を使えるようになりたい。

現在、マシニングセンタのオペレーターとして働いています。ポリテクセンターで学んだ知識や機械操作経験は、現在の仕事にとっても役に立っています。今後経験を積んで一人前にマシニングセンタを使いこなせるようになったら、社内のすべての工作機械を使えるようになりたいと思っています。

ポリテクセンターの授業はとてわかりやすく、覚えたことは就職先でもとても役に立ちました。これから受講を考えている方は、日々の訓練と就職活動のどちらもがんばってください。

就職先企業での活躍

砂走 堂仁さんの業務

射出成形機のノズルの溝やボルト穴、リング形状部品をマシニングセンタで加工する業務に従事しています。図面に指示された幾何公差20ミクロンの公差幅を外さないように、また後工程の研磨加工を意識して、ワークの取り付け姿勢に注意しながら段取り・加工作業をしています。



採用者の声 製造部 次長 田中正之様

ポリテクセンターで機械加工やCADやNCについて学んだ人材は、即戦力とは言いませんが、基礎的な知識と技術を身につけているので、企業サイドとしても、人材育成の時間を短縮することができます。

訓練期間を人間的にも成長できるチャンスと捉え、自ら考え深掘りできる人材への転身を期待します。



日本ニューノーズル株式会社（静岡県静岡市） 現在ポリテクの修了生3名が活躍

あらゆる機器はいくつもの部品から構成されています。その一つ一つのどれが欠けても機器は生命を成すことができません。部品は目立たなくとも重要な使命を果たしていると常に考え続けております。当社は、それらに要望される材質・熱処理・特殊加工・高精度といった特性機能の追及を図り、誇りをもって品質の高い製品を作り出しています。

(製品例)

- ・射出成形機部品（スクリューヘッド、ギャクシリング、シールリング、ノズル 等）
- ・金型部品、航空部品、医療部品

